

「環境配慮型のリサイクルラッピングフィルム」の開発・製造を開始

佐川印刷株式会社(本社:京都府向日市、代表取締役会長 CEO:木下宗昭、取締役社長:木下寧久)は、標題のフィルム開発・製造に着手致します。

当社は、従来より雑誌、通販カタログ、チラシ等の印刷・製本から、その輸送段階で使用されるラッピングフィルムの製造、及びラッピング作業から発送までを一貫して、おこなって来ました。

今般、①フィルム生成工程、②印刷工程、③フィルムスリッタ工程、④ラッピング工程、それぞれの段階で排出される廃フィルムをリサイクルすることにより、ラッピングフィルムとして再利用するスキームを提供します。

ラッピングフィルムはポリエチレンが主体で、廃フィルムは各工程で1～数%発生しますが、印刷インクが付着しているものは現在、雑プラとしてリサイクル、または燃料としてサーマルリサイクルされ、その用途は限られて来ました。

当社は家庭紙業界大手のコアレックスグループ様とアライアンスを結び、家庭紙輸送用フィルムの回収・リサイクルのスキームも構築中で、そこから派生する廃フィルムもリサイクルすることになっています。また、同業他社からの廃フィルム受け入れも検討しています。

当初はポリエチレンからスタートしますが、徐々にPETやポリプロピレンも混合出来る様に開発を進めて参ります。

リサイクル率を上げることにより、バージンナフサの使用を削減するとともに廃プラも削減し、環境にやさしいリサイクルラッピングフィルムの開発・製造をおこないます。

当社は水性フレキソ印刷によるVOCレス包装フィルムを既に実用化しており、これにリサイクルを加えることにより、更なる環境配慮型企业を目指します。

※ リサイクルラッピングフィルム(RWF™)は、2020年3月頃の販売開始を予定しています。

RWF
Recycled Wrapping Film

以上

〈このリリースについてのお問い合わせ先〉

佐川印刷株式会社 日野軟包材工場

〒529-1663 滋賀県蒲生郡日野町北脇字中畑120

担当: 川端 nob-kawabata@spcom.co.jp

TEL: 0748-53-8222

FAX: 0748-53-8211